

2022年3月期 第2四半期決算説明会

2021年11月22日
綜研化学株式会社

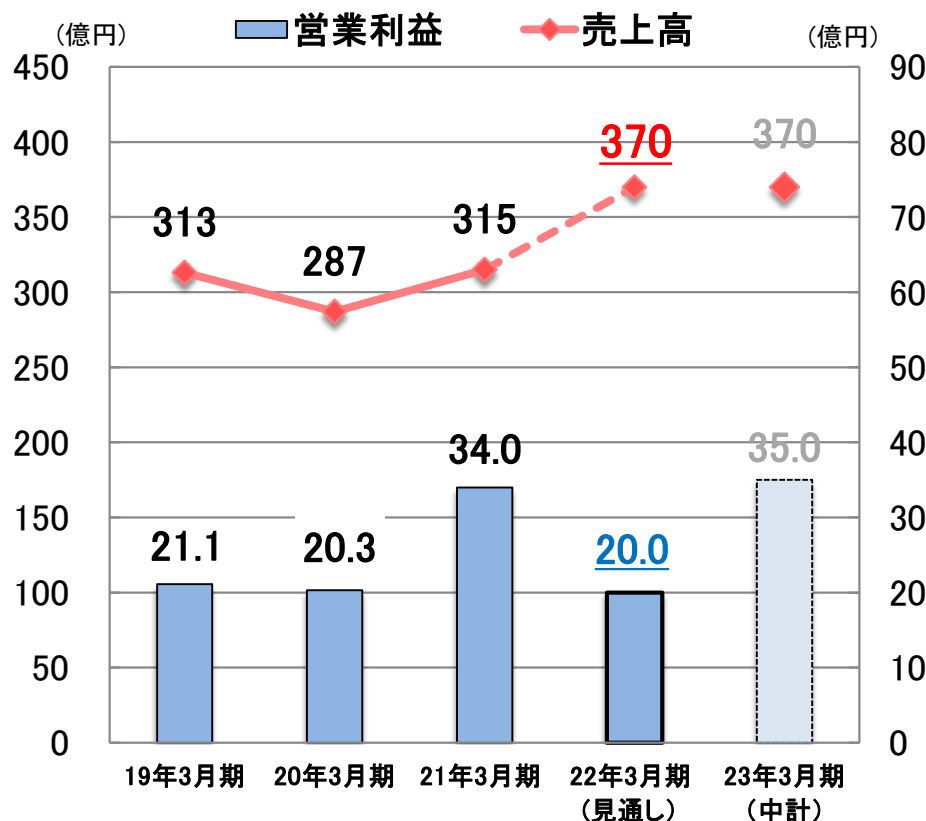
1. 中期経営計画「New Value 2022」進捗状況
2. 2022年3月期 上期(第2四半期)連結決算
3. 2022年3月期 通期業績見通し

1. 中期経営計画「New Value 2022」進捗状況
2. 2022年3月期 上期(第2四半期)連結決算
3. 2022年3月期 通期業績見通し

事業環境

- ・ 液晶ディスプレイ関連分野の需要が堅調に推移
- ・ 原油価格の高騰、需給逼迫による原材料価格の上昇

業績見通し



(売上)

堅調な液晶ディスプレイ関連分野の需要を受けて粘着剤の販売が大幅に増加

(利益)

価格転嫁やコスト削減に努めるも、急激な原材料価格の上昇による短期的な収益性の悪化

(その他)

円安に伴う為替換算額の増加

現状の取り組み

短期

- ・ 原材料の安定調達
- ・ 販売価格への転嫁による適正利益の確保
- ・ グループ生産体制の見直し等による生産性の向上

中長期

- ・ 中長期的な需要を見据えた生産・供給体制の増強
 - 中国南京工場の更なる設備増強(現状生産能力の約3倍)
- ・ 成長領域での高付加価値製品の開発・販売体制の強化
 - 自動車加飾フィルム用粘着剤等の開発(詳細は34ページ参照)
- ・ 社会課題の解決を志向した新規事業開発の推進
 - 医療・ヘルスケア分野でのスタートアップ企業等との連携強化
- ・ 成長を支えるグループ経営管理体制の強化
 - 次世代を担うグループ人材の確保・育成

1. 中期経営計画「New Value 2022」進捗状況
- 2. 2022年3月期 上期(第2四半期)連結決算**
3. 2022年3月期 通期業績見通し

2022年3月期 上期業績

- ✓ 中国市場を中心に液晶ディスプレイ関連分野の需要拡大
- ✓ 原材料価格上昇に伴い収益性悪化

(百万円)

	2021年3月期 上期	2022年3月期 上期	前年同期比		2022年3月期 上期(計画)
			増減	%	
売上高	14,004	17,742	3,738	26.7	16,600
営業利益	1,430	1,337	▲93	▲6.5	1,200
営業利益率(%)	10.2	7.5	▲2.7		7.2
経常利益	1,482	1,481	▲1	▲0.1	1,200
当期純利益	1,192	1,179	▲12	▲1.1	900
1株当たり純利益(円)	145.02	143.16	▲1.9	▲1.3	109.37

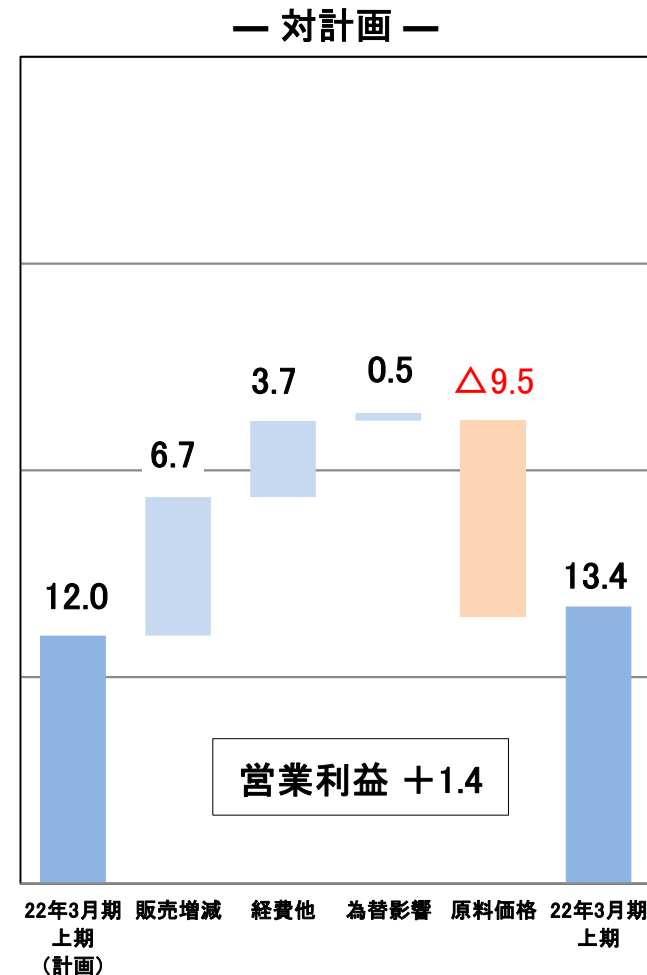
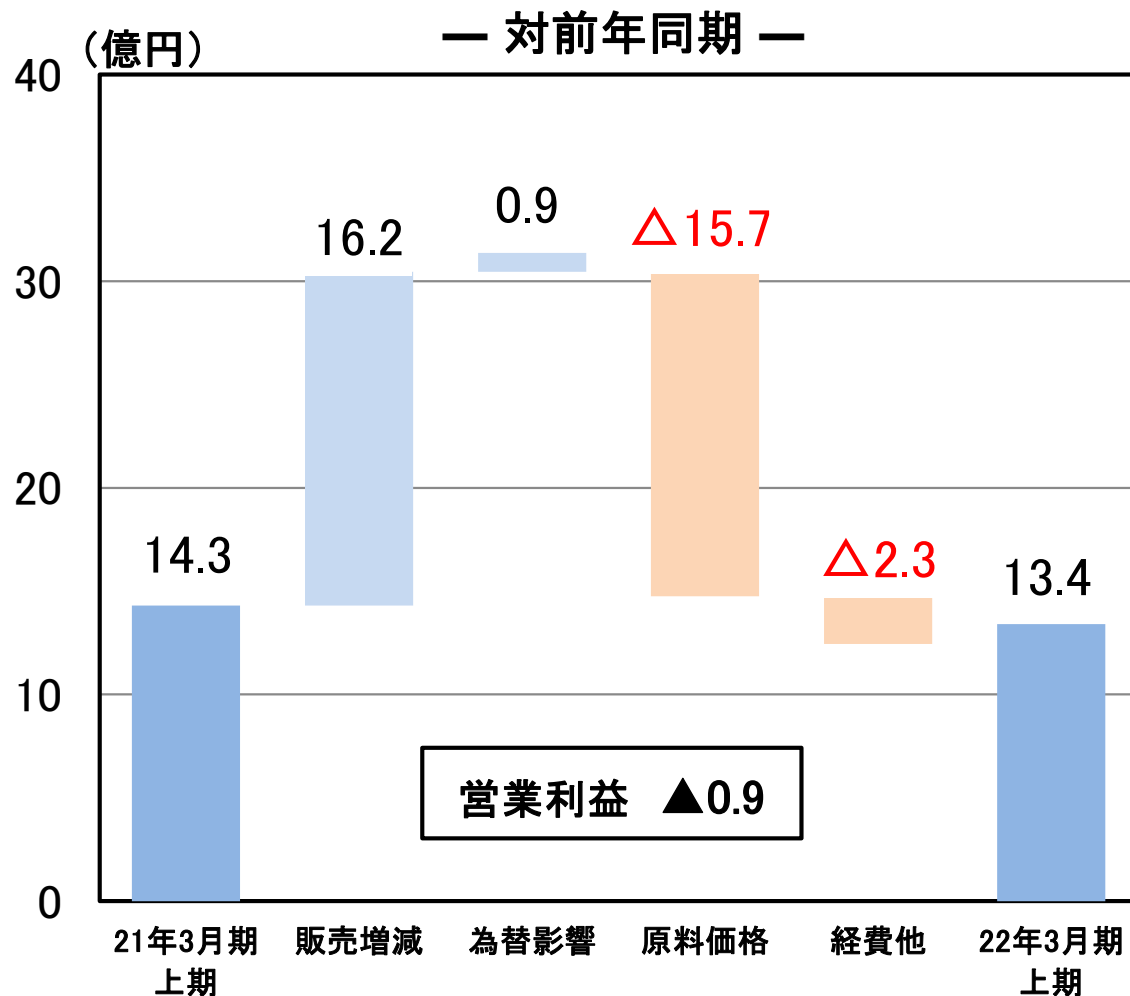
* 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を記載しております。

2022年3月期 上期セグメント別売上高

(百万円)

	2021年3月期 上期	2022年3月期 上期	前年同期比		2022年3月期 計画(上期)
			増減	%	
ケミカルズ	12,640	15,640	3,000	23.7	14,600
粘着剤	7,888	10,015	2,126	27.0	9,400
微粉体	1,245	1,502	256	20.6	1,400
特殊機能材	1,465	1,594	129	8.8	1,500
加工製品	2,041	2,529	488	23.9	2,300
装置システム	1,364	2,101	737	54.0	2,000
合計	14,004	17,742	3,738	26.7	16,600

- ✓ 液晶ディスプレイ関連分野の販売伸長
- ✓ 原油価格高騰、需給逼迫に伴う原材料価格上昇
- ✓ 販売増に伴う物流費、コロナ禍で抑制していた活動経費等の増加



貸借対照表の状況

(百万円)

	2021年 3月末	2021年 9月末	増減		2021年 3月末	2021年 9月末	増減
流動資産	24,600	24,596	▲4	負債	14,812	14,224	▲588
現預金等	9,600	9,466	▲133	支払手形・買掛金	6,189	7,525	1,335
受取手形・売掛金	10,747	9,855	▲891	借入金	2,063	2,412	348
棚卸資産	4,029	4,963	933	退職給付に係る負債	1,793	1,790	▲3
その他	223	311	88	その他	4,765	2,496	▲2,269
固定資産	15,802	16,597	794	純資産	25,591	26,969	1,378
有形固定資産	13,952	14,842	889	株主資本	24,949	25,542	593
無形固定資産	386	358	▲27	その他の包括利益累計額	641	1,427	785
その他	1,463	1,395	▲67				
資産合計	40,403	41,193	790	負債・純資産 合計	40,403	41,193	790

キャッシュ・フローの状況

(百万円)

	2021年3月期 上期	2022年3月期 上期	2022年3月期上期の 主な内容
営業活動による キャッシュフロー	2,255	1,707	税引前純利益 1,513 減価償却費 900 運転資金増等 ▲706
投資活動による キャッシュフロー	▲1,525	▲1,620	有形固定資産取得 ▲1,702 投資有価証券売却 112 による収入
財務活動による キャッシュフロー	▲572	▲408	借入金増減 208 配当金支払 ▲617
現金及び現金同等物 の増減額	109	▲133	
現金及び現金同等物 の期末残高	6,854	9,466	

1. 中期経営計画「New Value 2022」進捗状況
2. 2022年3月期 上期(第2四半期)連結決算
3. 2022年3月期 通期業績見通し

2022年3月期 業績見通し

- ✓ 液晶ディスプレイ関連分野の販売が堅調に推移
- ✓ 原材料調達環境の更なる悪化

(百万円)

	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (見通し)	前年同期比		2022年3月期 (計画)
			増減	%	
売上高	31,493	37,000	5,506	17.5	34,000
営業利益	3,397	2,000	▲1,397	▲41.1	3,000
営業利益率(%)	10.8	5.4	▲5.4		8.8
経常利益	3,576	2,100	▲1,476	▲41.3	3,000
当期純利益	2,724	1,500	▲1,224	▲45.0	2,200
1株当たり純利益(円)	331.12	182.02	▲149.10	▲45.0	267.35

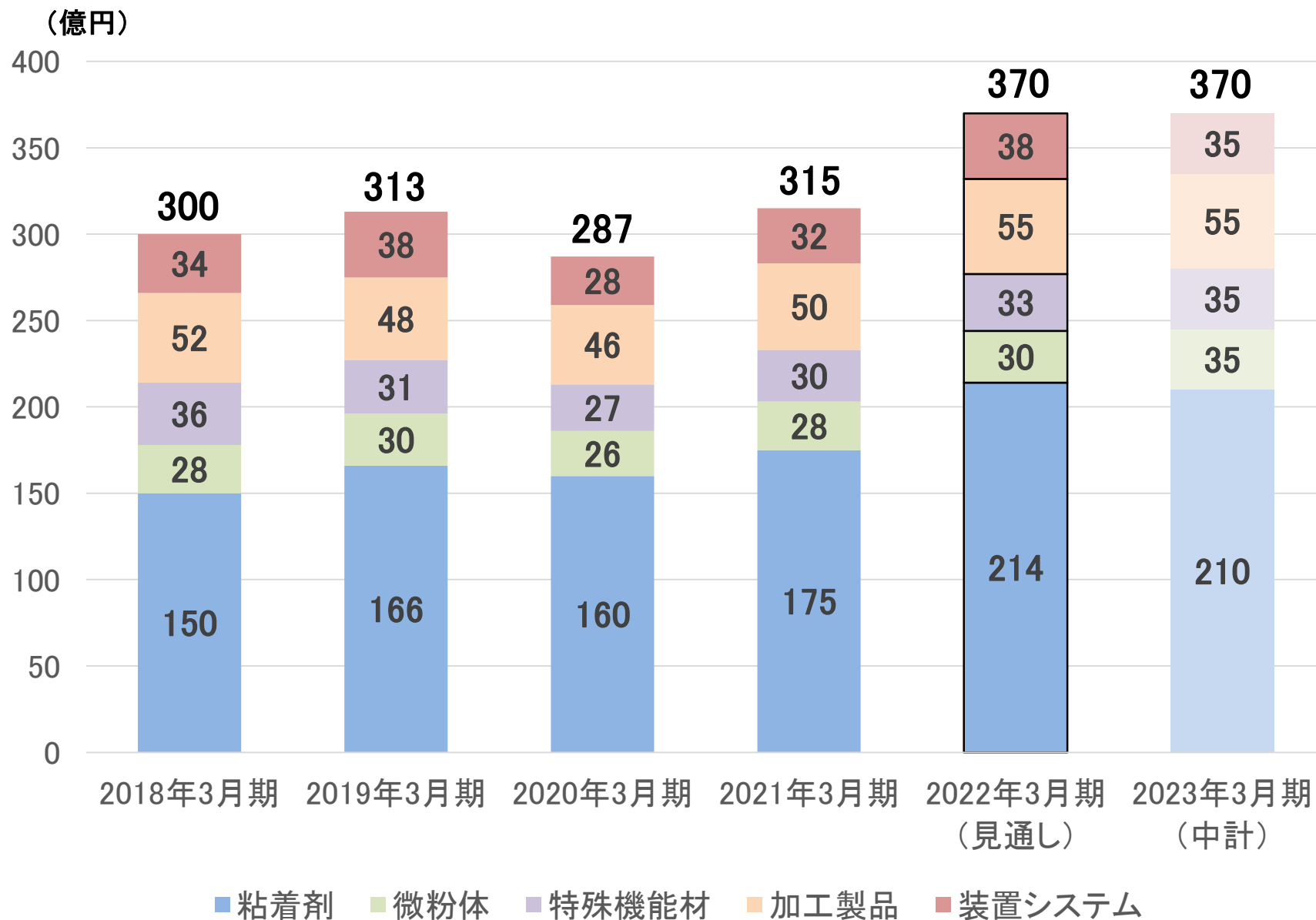
* 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を記載しております。

2022年3月期 セグメント別売上高

(百万円)

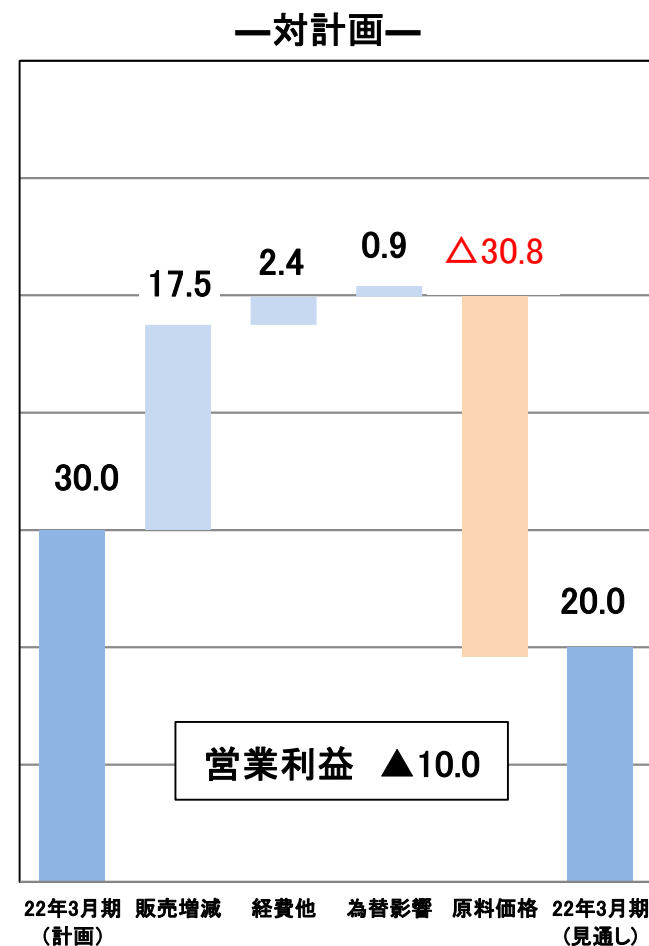
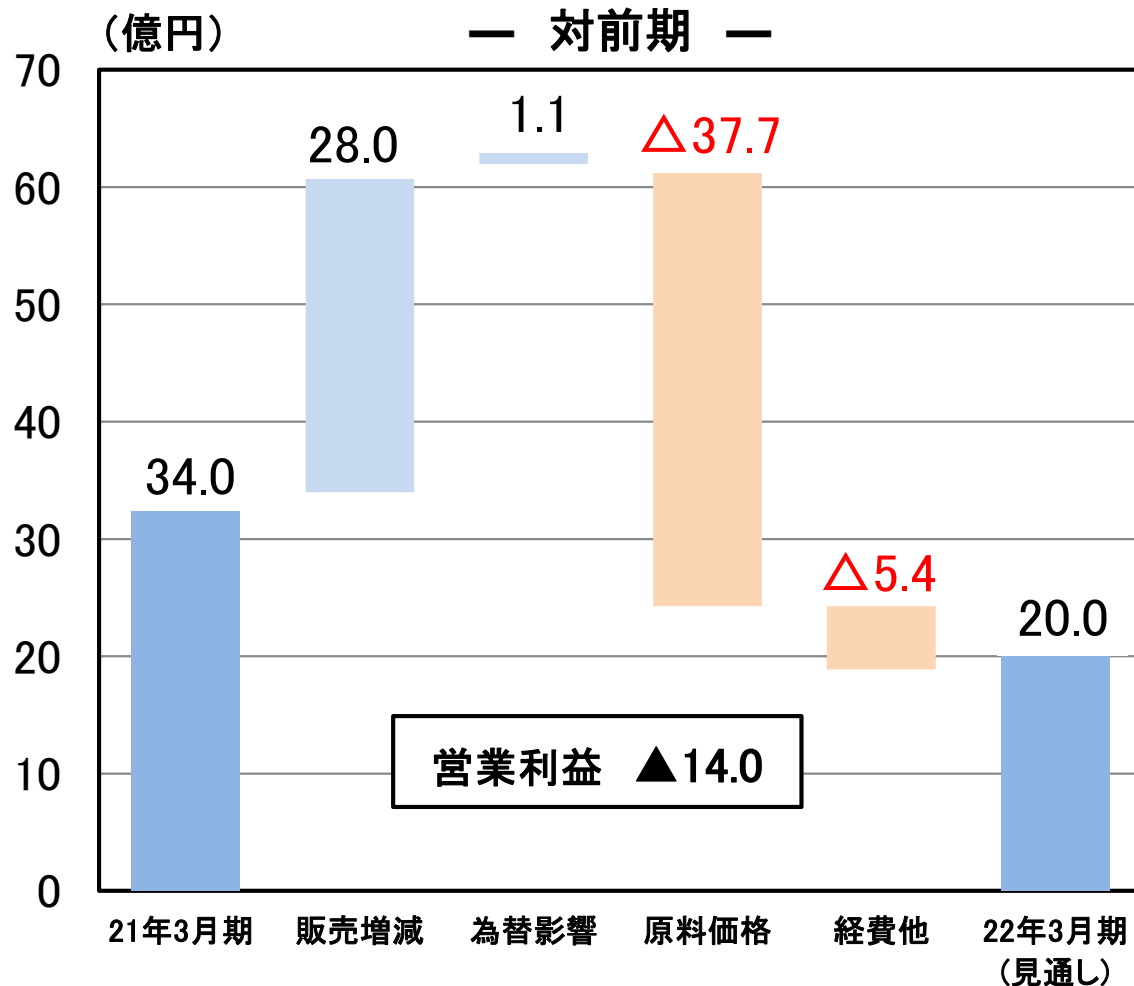
	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (見通し)	前年同期比		2022年3月期 (計画)
			増減	%	
ケミカルズ	28,295	33,200	4,904	17.3	30,500
粘着剤	17,477	21,400	3,922	22.4	19,400
微粉体	2,825	3,000	174	6.2	3,000
特殊機能材	3,036	3,300	263	8.7	3,100
加工製品	4,955	5,500	544	11.0	5,000
装置システム	3,198	3,800	601	18.8	3,500
合計	31,493	37,000	5,506	17.5	34,000

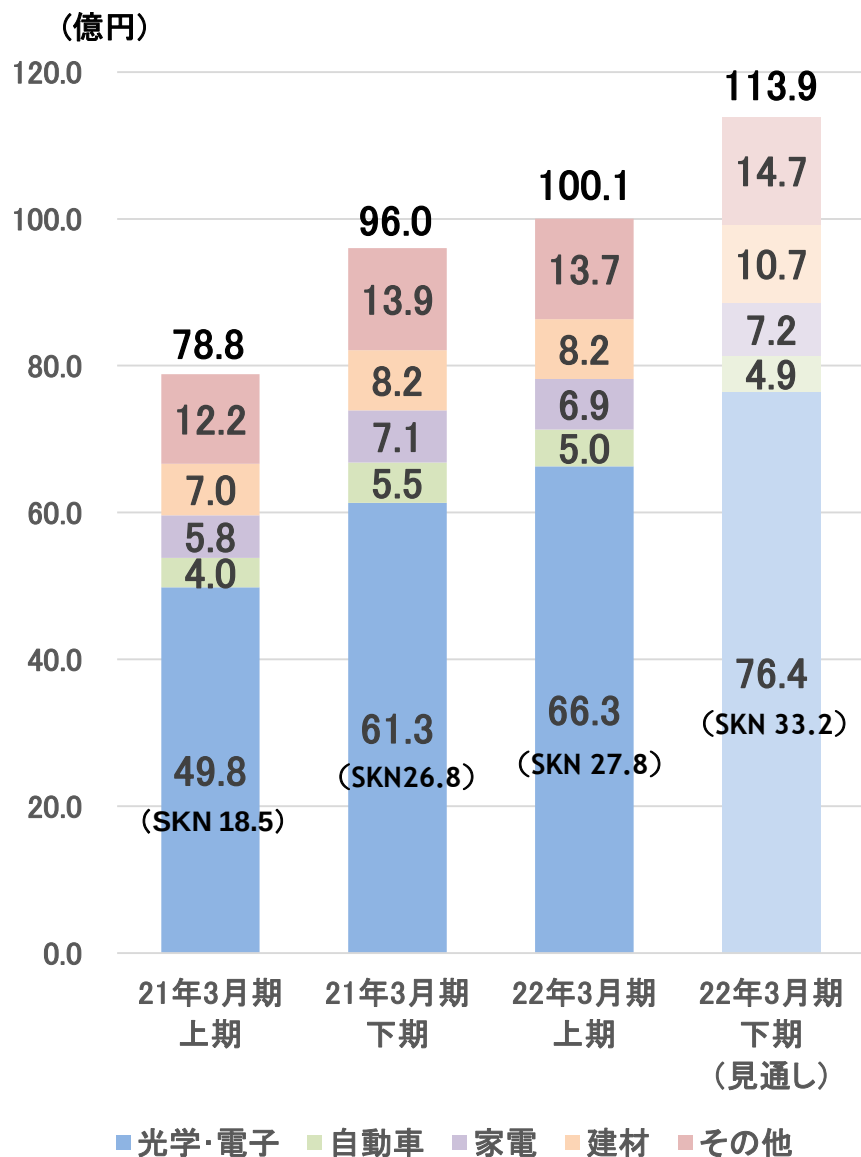
商品ユニット別売上高推移



2022年3月期 通期営業利益分析

- ✓ 粘着剤を中心にケミカルズの販売が大幅伸長
- ✓ 原材料の需給逼迫、価格急騰が深刻化
- ✓ 販売増、事業活動正常化に伴い経費等が増加

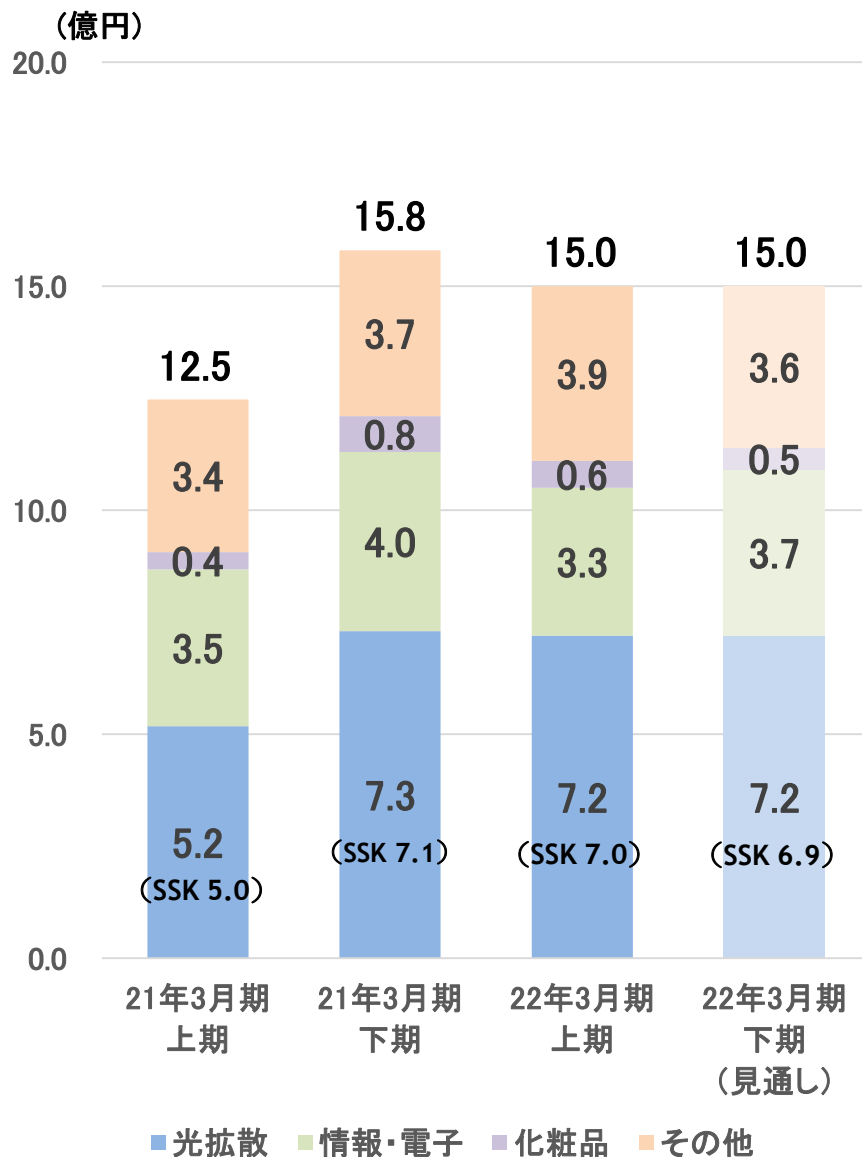




※ SKN: 中国子会社 綜研高新材料(南京)

	21年3月期 (実績)	22年3月期 (見通し)	増減
光学・電子	111.1	142.7	31.6
建材・自動車他	63.7	71.3	7.6
合計	174.8	214.0	39.2

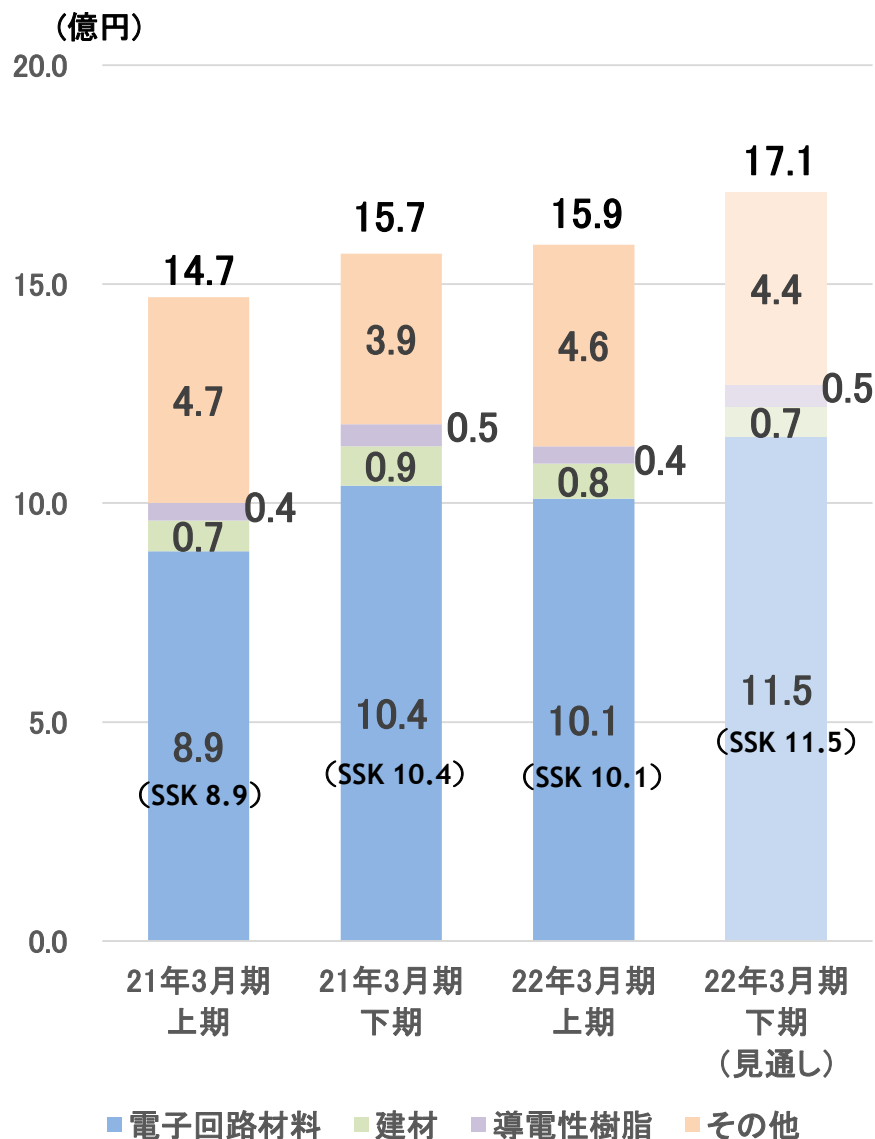
- 中国市場を中心に液晶ディスプレイ偏光板、周辺用途の販売が大幅に増加
- 自動車・家電・建材分野は半導体不足等の影響はあるものの回復傾向で推移
- 原材料価格急騰に価格転嫁を進めるもタイムラグで採算性悪化
- 中国液晶ディスプレイ分野の需要拡大に応じたSKNの生産・供給能力増強を推進
- 自動車の加飾フィルム用途等、環境配慮型製品の開発、用途開拓に注力



※ SSK: 中国子会社 綜研化学(蘇州)

	21年3月期 (実績)	22年3月期 (見通し)	増減
光拡散	12.5	14.4	1.9
情報・電子他	15.8	15.6	▲0.2
合計	28.3	30.0	1.7

- 中国光拡散用途の需要がコロナ禍から回復、高シェア維持
- 情報・電子分野で一部顧客シェア減も、新規案件でリカバリー
- 収益改善に向けたグループ生産・供給体制の最適化推進
- 電子部品・電池関連分野での新規用途・顧客開拓、海外展開の促進
- 中国での研究開発機能拡充による市場ニーズに適応した製品の開発体制構築

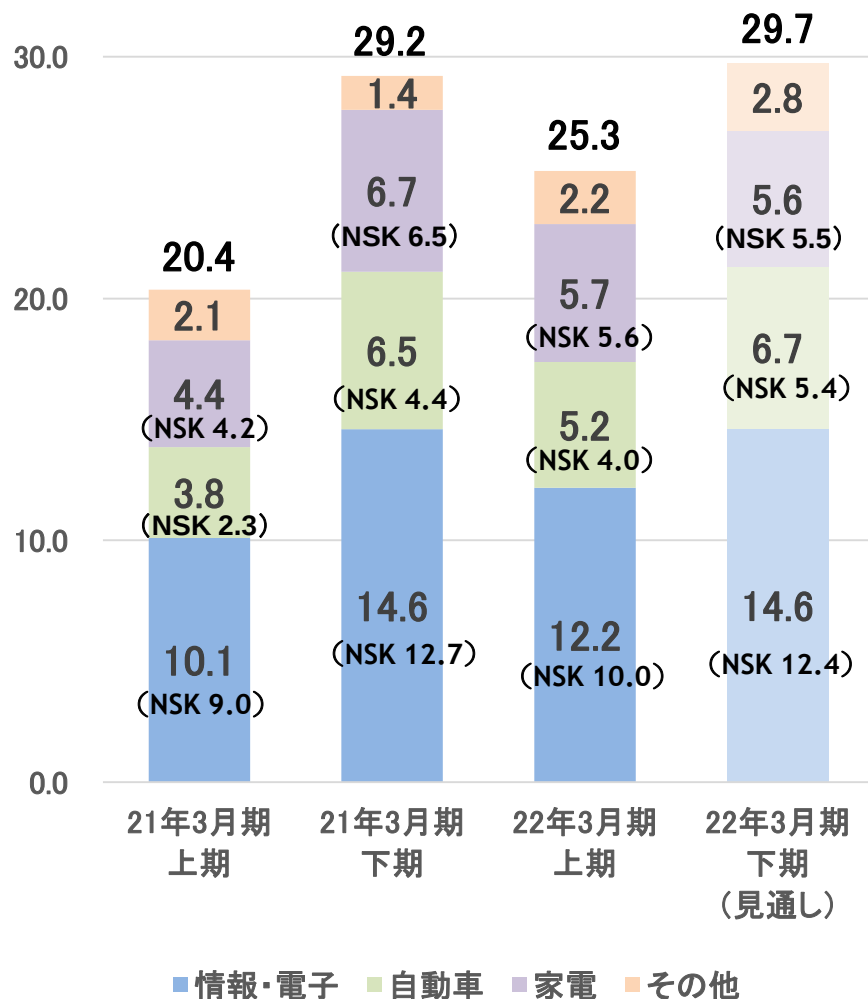


※ SSK: 中国子会社 綜研化学(蘇州)

	21年3月期 (実績)	22年3月期 (見通し)	増減
電子回路材料	19.3	21.6	2.3
建材他	11.1	11.4	0.3
合計	30.4	33.0	2.6

- 中国電子回路材料用途の販売が堅調に推移、ディスプレイ・トナー用途なども需要回復
- 建材分野での樹脂改質剤用途など、新規用途・顧客開拓、海外展開推進
- 電子部品分野での導電性樹脂など、有望顧客案件対応に注力
- 微粉体製品とのシナジー追求、中国事業拠点を活した販売体制の構築

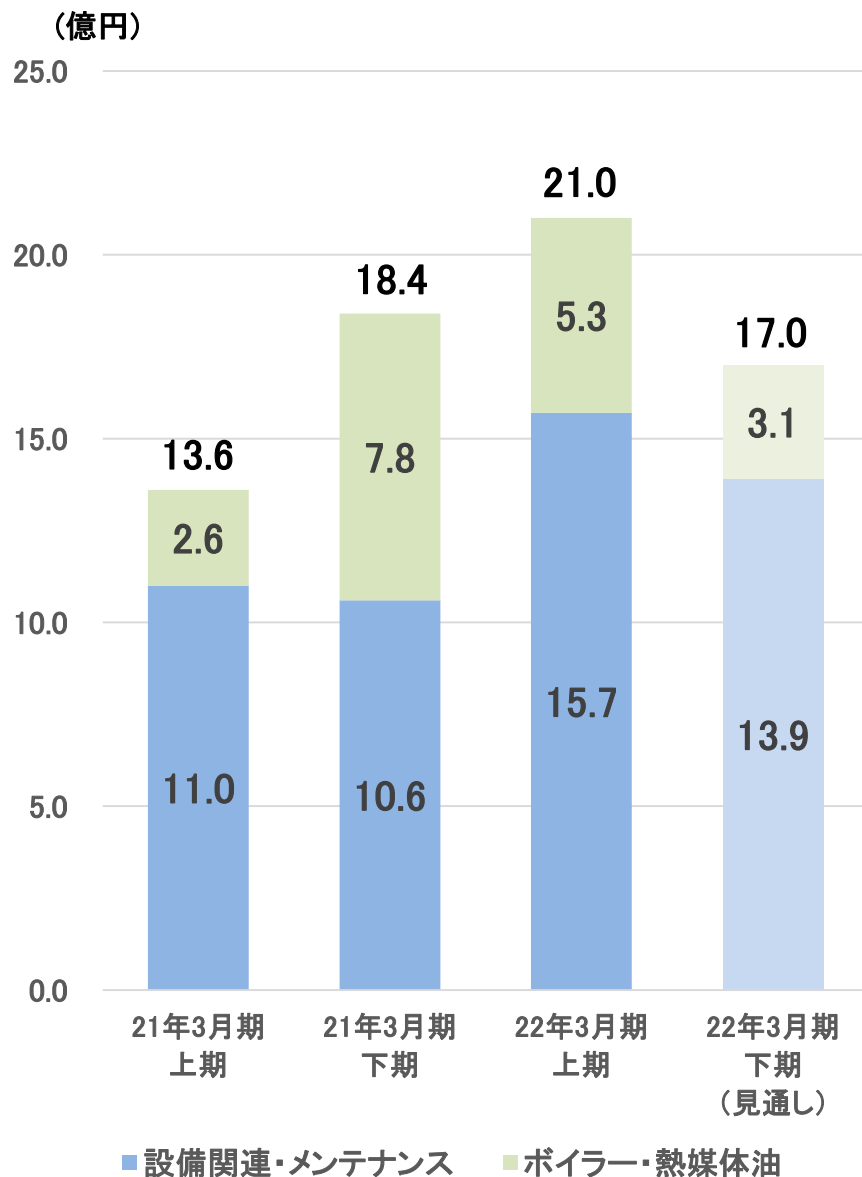
(億円)



※ NSK: 中国子会社 寧波綜研化学

	21年3月期 (実績)	22年3月期 (見通し)	増減
情報・電子	24.7	26.8	2.1
自動車他	24.9	28.2	3.3
合計	49.6	55.0	5.4

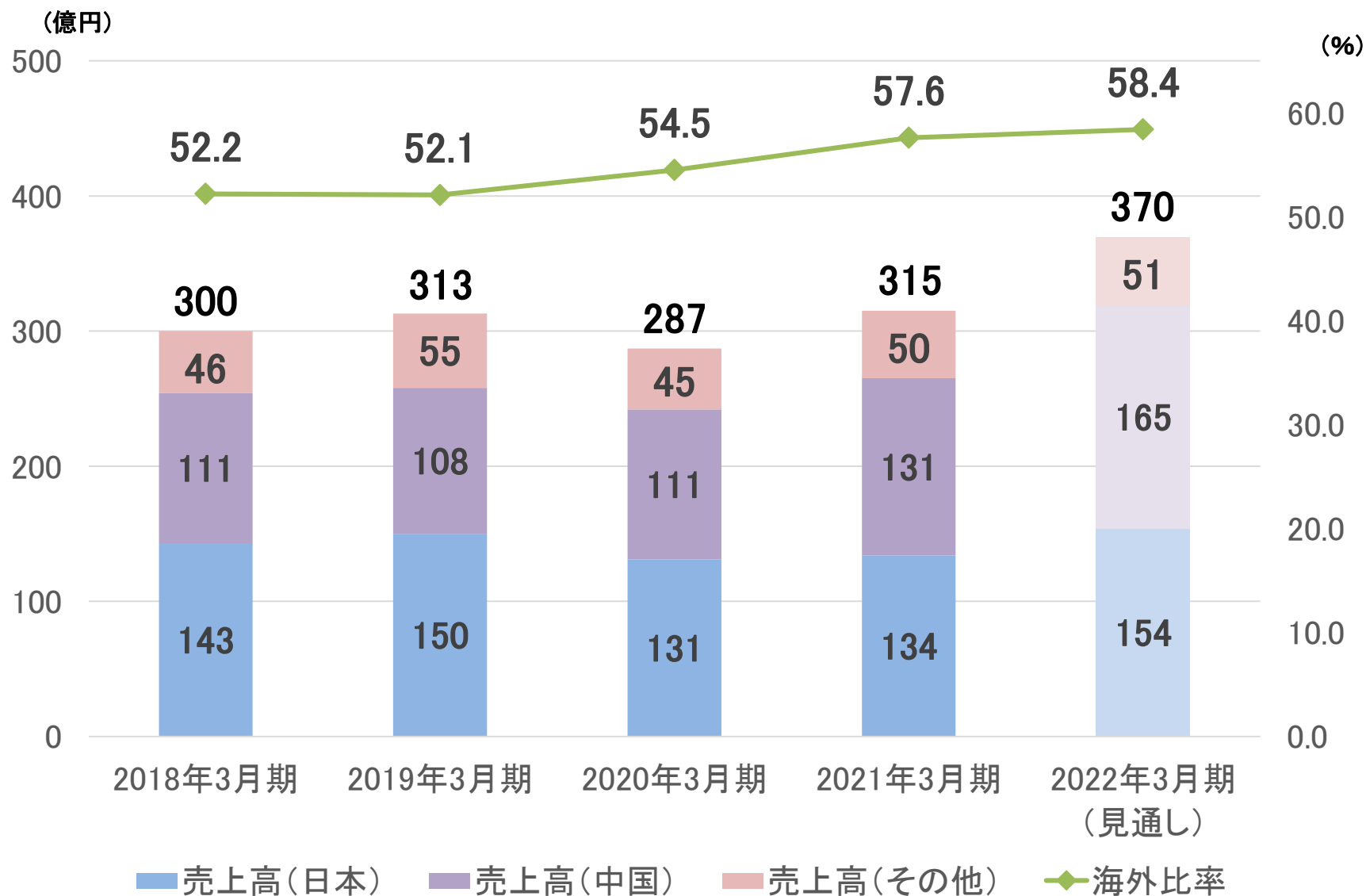
- 情報・電子分野は、スマートフォン関連の販売が減少も、電子表示用途などでの新規案件で増加
- 注力分野の自動車関連は、空調・内装用途などで環境配慮型製品の販売が増加
- 電子表示機器、自動車・医療分野での高機能テープや環境配慮型製品の開発、新規顧客開拓に注力



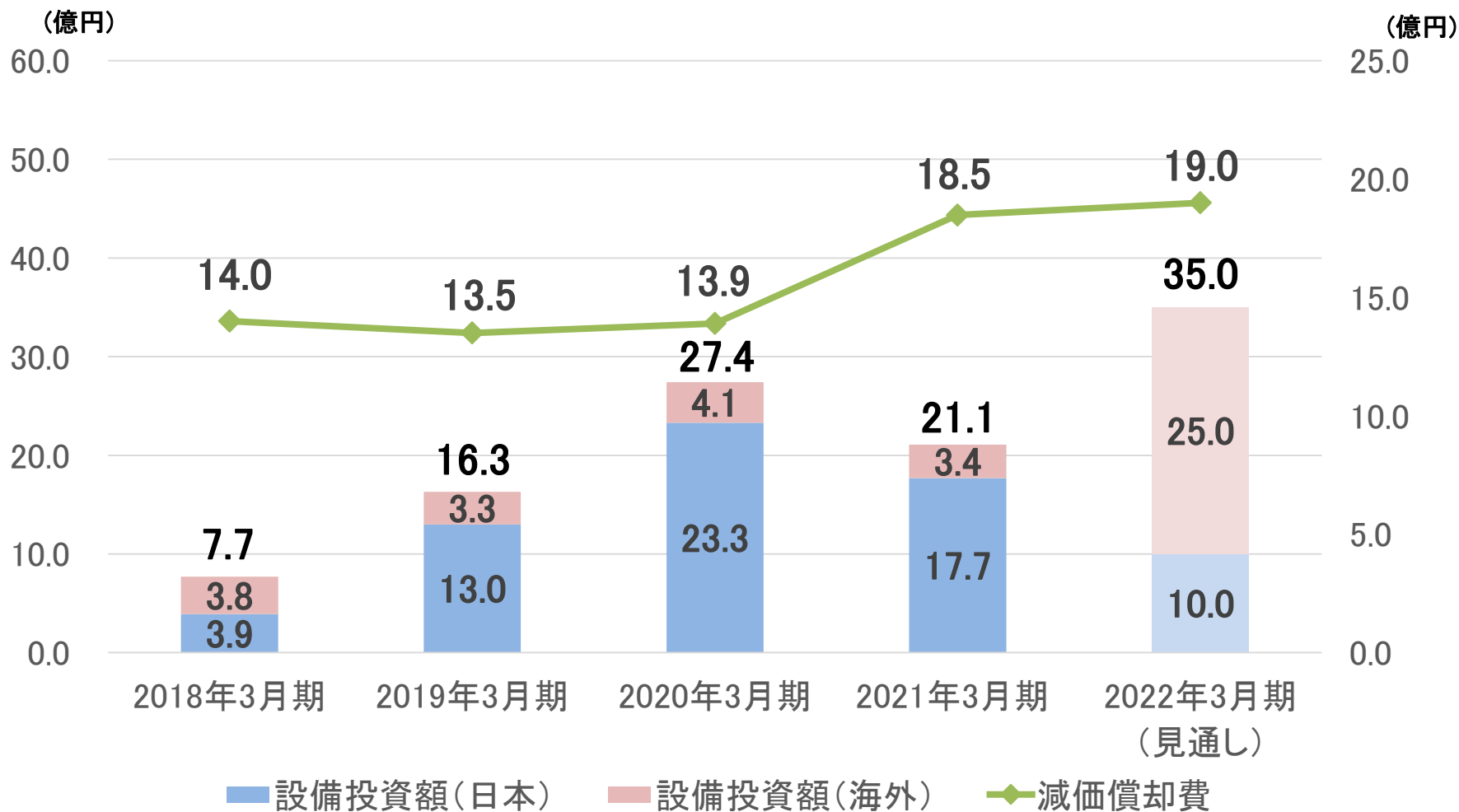
	21年3月期 (実績)	22年3月期 (見通し)	増減
設備関連 メンテナンス	21.6	29.6	8.0
ボイラー 熱媒体油	10.4	8.4	▲2.0
合計	32.0	38.0	6.0

- 国内設備投資の回復を背景に、大型工事案件の受注により増収
- 原油や資材価格高騰による影響が懸念材料、来期に向けた受注残確保に注力
- 設備・ボイラー診断、3Dシステム、構造解析ソフト等による新サービスの拡充
- 熱媒体油の劣化分析サービスによる潜在顧客の発掘

海外売上高推移



設備投資・減価償却費



主な設備投資(2022年3月期)

- ・生産設備増強19.4億円(綜研高新材料(南京) 生産設備増強投資他)
- ・安全・環境・品質対応 5.5億円

参考資料

会社概要、事業内容

中期経営計画「New Value 2022」概要

新製品紹介

社名	綜研化学株式会社 (Soken Chemical & Engineering Co.,Ltd.)
創立	1948年9月2日
代表者	代表取締役社長 福田 純一郎
本社所在地	東京都豊島区高田3丁目29番5号
資本金	33億61百万円
証券コード	JASDAQコード:4972
事業内容	ケミカルズ : アクリル系粘着剤、機能性高分子、 有機微粒子、粘着テープ 装置システム : 熱媒体・熱媒ボイラー、 プラントエンジニアリング、メンテナンス
関係会社	連結子会社5社(国内1社、海外4社)
従業員数	連結 1,097名 / 単体 409名(2021年9月末時点)

経営理念

- 一、 私たちは常に誠実であるとともに
創造と工夫に情熱と責任を持って
挑戦しつづけます
- 一、 地球環境の保全を指向しつつ
社会に役立つ革新的製品を
提供します
- 一、 お客様には心からの満足を
株主の方々には共感を
そして私たちは働く喜びを
実現していくことに
最善を尽くします

コア技術

高分子合成技術

- ・ 分子設計
- ・ 粒子サイズコントロール
- ・ 無溶剤重合

&

重合装置技術

- ・ プラント設計
- ・ 大型翼攪拌装置
- ・ 熱媒体・熱媒ボイラー

機能発現・品質評価を追求する

研究開発力



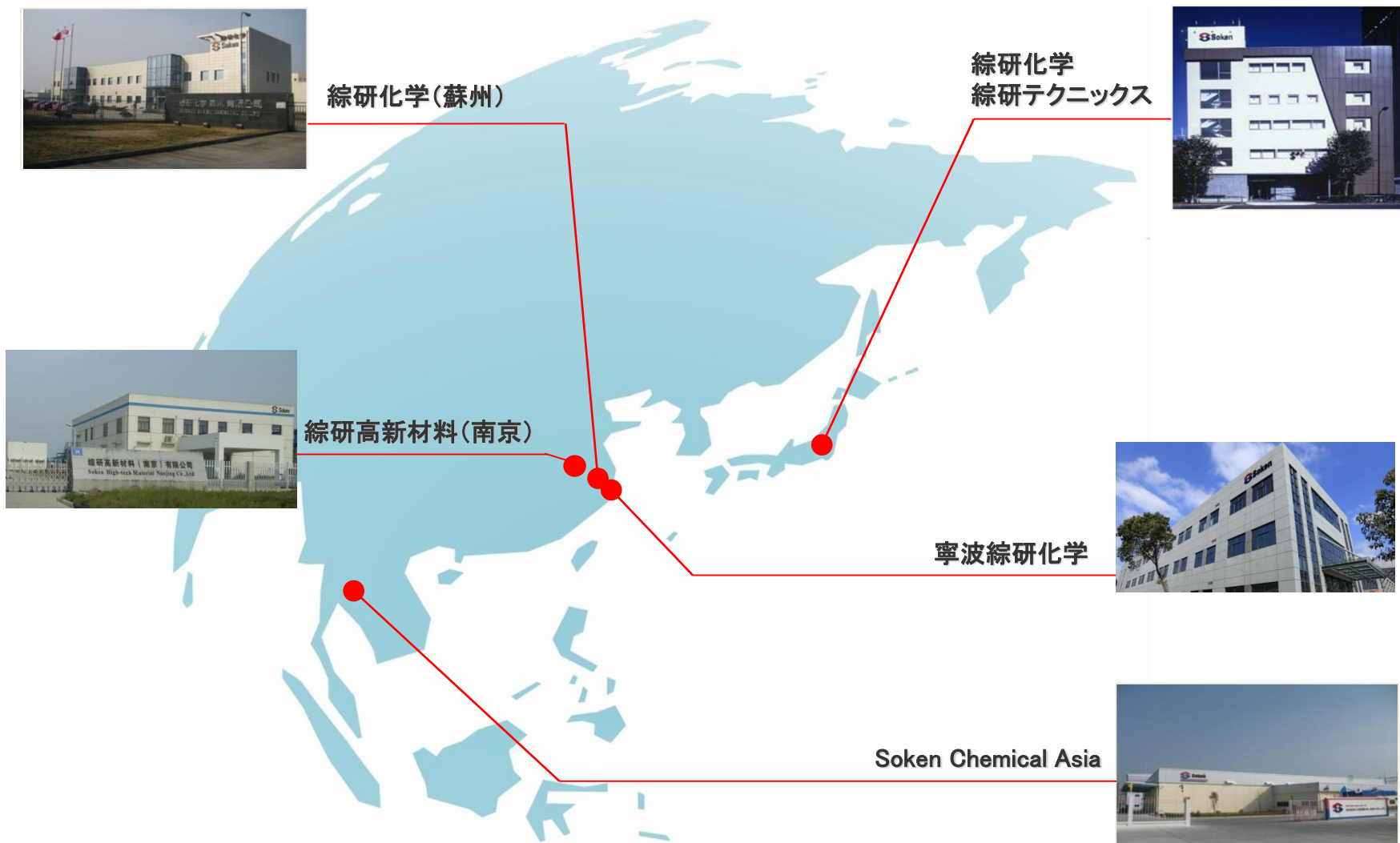
装置・システム技術を生かした

生産技術力



機能・品質・低コストの徹底追求

グループ会社の所在地



会社概要(グループ会社)

会社名 / 商品ユニット	出資比率	設立年	粘着剤	微粉体	特殊機能材	加工製品	装置システム
綜研化学	—	1948年	●	●	●	●	
綜研テクニックス	100	1997年					●
綜研化学(蘇州)	100	2002年	○	●	●		
寧波綜研化学	100	1994年	○			●	
綜研高新材料(南京)	100	2011年	●				
綜研化学アジア	100	2008年	●			●	

 連結子会社

● 販売製品・サービス ○ 自社使用等

ケミカルズ

■ 粘着剤

透明な合成樹脂溶液



用途：

LCD他光学フィルム用
両面テープ用
（家電・自動車等）
ラベル用
マーキングフィルム用

■ 微粉体

ナノからミクロンサイズの
合成樹脂粒子

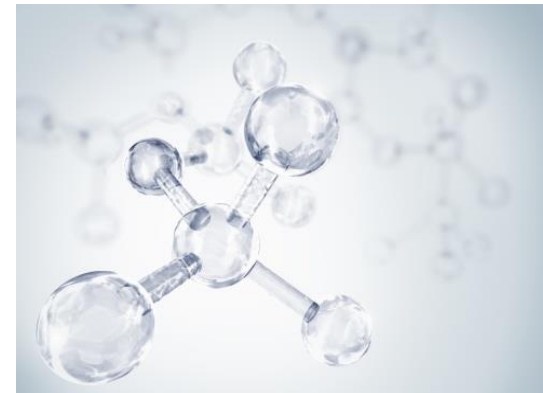


用途：

LCD光拡散用
化粧品用
トナー関連材料
フィルム用

■ 特殊機能材

様々な用途に応じた合成樹脂



用途：

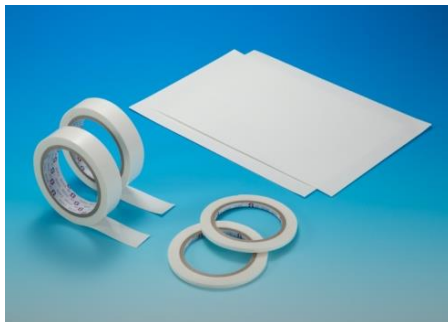
電子回路材料
インキ・塗料材料
トナー関連材料
導電性材料

ケミカルズ

■ 加工製品

粘着テープ

粘着剤を塗工した製品



用途:

自動車等

(両面テープ)

スマートフォン等

(保護テープ)

家電・事務機等

(両面テープ)

装置システム



大型翼攪拌装置 (Hi-F)

熱媒ボイラー

熱媒体

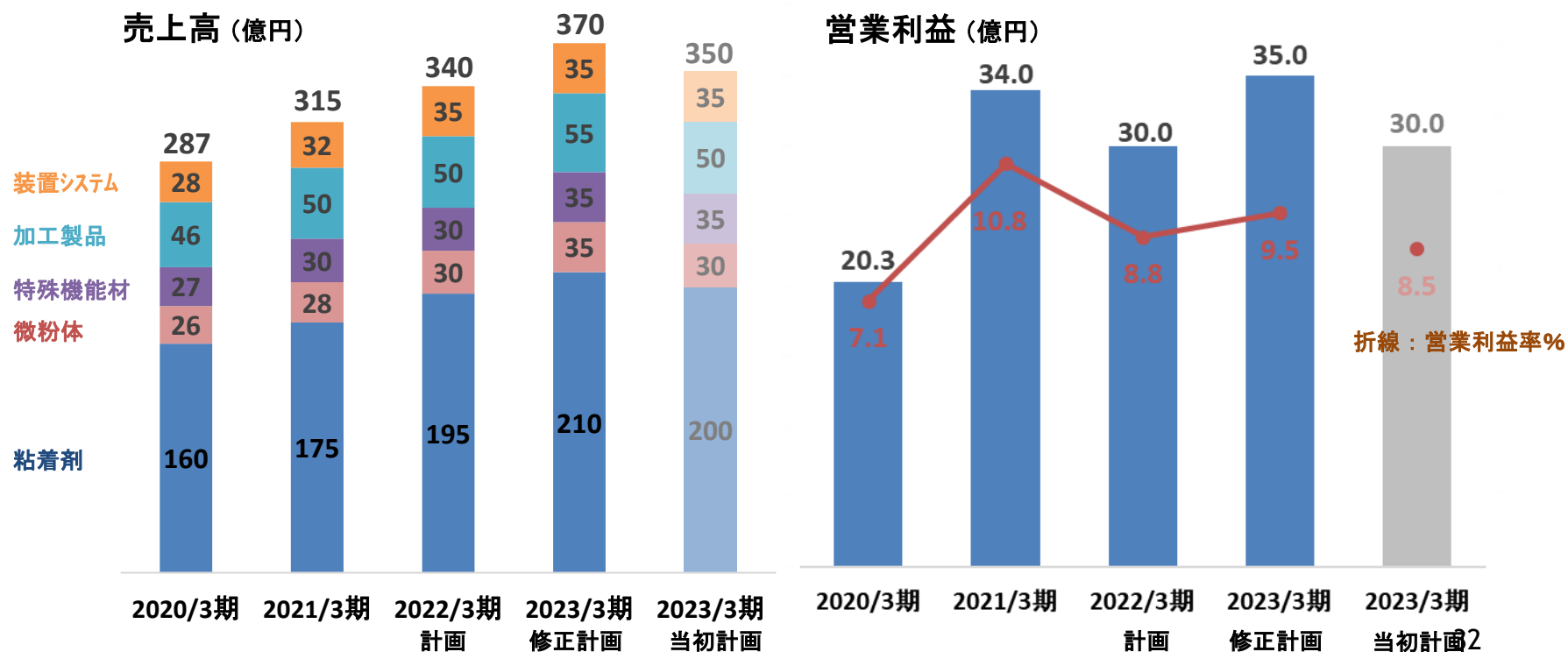
メンテナンス

中期経営計画「New Value 2022」 数値目標



2023/3期目標数値	修正計画	当初計画
連結売上高	370億円	350億円
連結営業利益	35億円	30億円
売上高営業利益率	9.5%	8.5%
ROA	8%以上	8%以上
ROE	9%以上	9%以上

2021/3～2023/3期投資計画	
設備投資	70億円



◆基本戦略

◇収益基盤の拡大・強化

- ・ 中国への生産集約化が進む液晶ディスプレイ関連分野での市場シェア拡大
- ・ アジア地域を中心に海外での更なる事業拡大

◇新たな成長基盤の構築

① 次世代の柱となる事業領域の創出

- ・ 自動車、エネルギー、医療・ヘルスケアなどの成長が期待される分野において、既存事業の枠組みを超えたグループ横断的な戦略体制の構築

② 継続的な新規事業の創出体制の構築

- ・ 将来の社会環境の変化や課題の中にビジネスチャンスを見出し、外部リソースを活用し、新規事業を継続的に創出するための開発・推進体制の構築

③ 持続的な成長を支える経営基盤の強化

- ・ 次世代を担うグローバル人材の育成・確保
- ・ グループ内の多様な人的リソースの有効活用に向けた人事インフラの構築
- ・ 成長を支えるグループ経営管理体制の強化

自動車加飾フィルム用粘着剤の製品化

当社の製品ラインナップに自動車加飾フィルム用粘着剤が加わりました。従来の自動車外装のスプレー塗装工程は、生産工程全体におけるCO2排出量の約3割を占めると言われています。加飾フィルムは、新たな加飾工法としてデザインを施したフィルムを外装部材に圧着させる工法で、スプレー塗装に比べて環境負荷が小さいことにくわえ、複雑なデザインや質感を付与出来ることから注目が高まっています。また、自動車以外にもスマートフォンなどのディスプレイ機器や外壁材などの住宅資材・設備向けの加飾フィルムや半導体基板の封止フィルムなどへの展開が期待されています。

<特徴>

- ・金属・樹脂など様々な材質へ適応可能
- ・ベタ付きが少なく良好な作業性
- ・ノントルエンでVOC対策 等

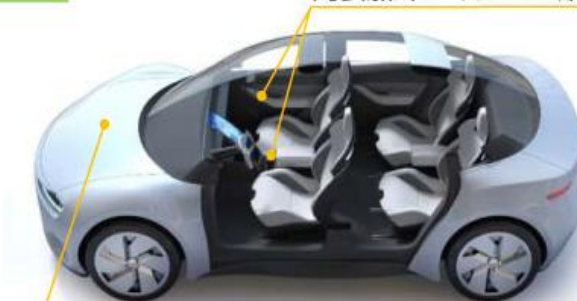
<想定市場規模(当社調べ)>

2030年 数十億円/年

2050年 数百億円/年

自動車内外装

内装加飾フィルムの貼り合せ



外装加飾フィルム、
カーラッピングの貼り合せ

(注) 本資料中の予想は、決算発表日現在において、入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る決算発表日現在における仮定を前提としているため、実際の業績は、今後の種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。

<お問い合わせ先>

綜研化学株式会社 経営管理部経営企画グループ

TEL 03-3983-3268

E-mail ir-soken@sokenchem.com